パリ個展レポート

畑田美智子

パリには様々なギャラリーがあるが、今回のエチェンヌ・ド・コーザンギャラリーはサンジェルマン・デ・プレのセーヌ通りに位置する老舗のギャラリーである。突き当りの通りには美術の最高教育機関ボザールや画材店などがあり、アートの発信拠点として多くのアートファンは勿論世界中のアートとの新な出会いを求めて多くの人達が訪れている。

2013 年 6 月 22 日～29 日「エチェンヌ・ドゥ・コーザン・ギャラリー」にて個展を開催した。会期に先駆け 6 月 21 日には 18 時よりヴェルニサージュ（オープニング・パーテイ）が行われ、ギャラリストのエチェンヌ・ド・コーザン氏の挨拶の後、それぞれが関心のある作品を求めて、ギャラリスト、アート関係者、美術館学芸員等日本のアートに関心のある人とともに、平日の夕方からの開催とあって、仕事帰りの人やポスターやパンフレットを見た美術学校の学生やパリ在住の日本人など種々の世代と国籍の方々の来場となった。

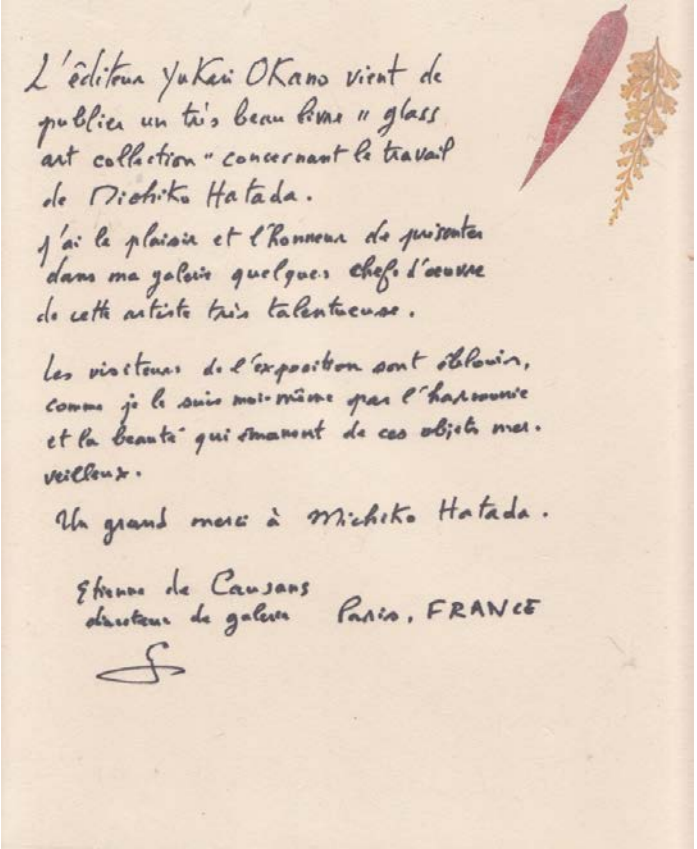
その日、私は着物を装っていたので注目され、こみあった会場で一人ひとりとじっくりとお話しするのは無理であったが、多くの方々と短い言葉を交わすことが出来た。作品については「エミール・ガレの作品は知っているが、このようなガラスの作品は見たことがない」という人がほとんどで大変興味を示していただいた。

ギャラリー・トークでは、私のガラス作品は、幾層にも重ねた被せガラスをサンドブラストすることによりモチーフを浮き出していくという説明を、通訳を通じて行った。ギャラリストのコーザン氏とはかなり詳しいお話しが出来て、作品集も差しあげたので、よく理解していただけて、強い興味と関心を示され、また高い評価をいただいた。

私の着物にも興味津々で、作品を鑑賞されていたデザイナーのデルフィーヌ・ガルニエ（フォーカラー協会会長）さんは１点１点を丁寧に見ながら感想や意見をいただいた。これらの人達はパリでもかなりの目利きのようである。そういった人達の目を引き関心を持ってもらうのは大変難しいことであるが、このようにお眼鏡にかなったのはうれしいことであった。

画廊の場所は、パリの中心街サンジェルマン地区なので、観光客以外の人も多くて活気に溢れ、アートの地としての重みが感じられた。どの角度から見ても街並みはおしゃれで、ベルエポック時代の建物や景観はそこここに残っており、歴史的に文化を重んじてきた風格が漂う。パリの雰囲気、評価は美的感覚をその人がどれだけ持っているかによって変わってくる。それぞれの人が自分なりの美意識を持ちどこかで生かしている。

私のガラス作品の特徴は、今までにないガラスの曲面に美しい素材を生かしたデザインがオリジナルであるということと、硝子の輝きを効果的に作品に取り入れたことである。パリの様々な人達が鑑賞に来てくれたが、ともかくじっくりと作品を見るということ、子供の頃から美術品や文化遺産などに触れる機会があって、目が肥えているというのか、他人の意見を聞いて作品を観賞するというのではなく、自分の目とセンスで見据えるという態度が印象的であった。長い歴史的変遷を経て培われた国民性、審美眼なのであろうか。



L'éditeur Yukari Okano vient de publier un très beau livre "glass art collection" concernant le travail de Michiko Hatada.
J'ai le plaisir et l'honneur de présenter dans ma galerie quelques chefs d'œuvre de cette artiste très talentueuse.

Les visiteurs de l'exposition sont éblouis, comme je le suis moi-même par l'harmonie et la beauté qui émanent de ces objets merveilleux.

Un grand merci à Michiko Hatada.

Etienne de Causans
directeur de galerie Paris, FRANCE

畑田美智子先生の作品集が、岡野有香里さんの編集（美研インターナショナル）により出版されました。『Glass Art Collection』、実に素晴らしい本だと思いました。

私のギャラリーで、このような優秀なアーティスト・畑田先生の傑作を紹介できて光栄に思います。来場者も私も、先生の作品の美しさとそれらが調和された展示空間に、心より感動いたしました。深く感謝しております。

エチエンヌ・ドゥ・コーザン

ギャラリーオーナー

Paris FRANCE

来場者の声

- エミール・ガレを出発点とした日本の新しい芸術！！
- 静寂な雰囲気に心洗われるようでした。
- ガラスの茶碗や茶道具を初めて見た。静かな夜のイメージが湧いてきた。
- 「滝の幻想」が好き。すべてのバランスが完璧！
- あなたの作品を見られて本当に幸せです。ファンになりました。
- 「吉野の夢」・・・。なんて純粋な透明感なのだろう。
- 独特のモチーフの形や色に感動！日本に行ってみたくなりました。
- どの作品にも、詩的で繊細な魅力があった。
- 「まほろば」「湖面に映える逆さ富士」に神々しさを感じた。